

食品ロス削減に向けた取り組み 大宮店でフードドライブBOXを常設

～イトーヨーカドー埼玉店舗では第2号～

2021/5/5

各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、フードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する「フードドライブ活動」は、「もったいない」を「ありがとう」に変える、食品ロス対策と社会貢献の一石二鳥の取り組みです。

小売のような身近な場所が回収拠点となることは、お客様にとっても、お店にとっても大変意義があると思います。イトーヨーカドーの埼玉県内では浦和店に続く2店目となった我が大宮店。開始2週間前から、食品レジ前でチラシ等を置いて告知をさせていただいたところ、迎えた初日、埼玉県、フードバンク様の応援も頂き、ハッピーデーの日曜日だったこともあり、なんと、155点 重量にして41kgと沢山の寄贈をいただくことができました！始める前は、まさかこんなに多くのお客様に関心を持っていただけたとは思いませんでした。

フードドライブ活動は、セブン&アイグループ環境目標「GREEN CHALLENGE 2050」の4つのテーマの一つ「食品ロスの削減」の取組・SDGsの取組でもあるので、これからもお客様・官民連携で、地域社会とともに引き続き取り組んでまいります。

セブン&アイ HLDGS.

CSRアクション



大宮店
管理統括マネジャー
清 美敏

21年4月18日開設から確実にお客様の認知度があがっています

初日から3日間は
フードバンク埼玉様、
埼玉県とともに啓発活動を実施

お客様からの
善意の数々

食品レジ前にて、引き続き
常時、BOXを無人設置しています



農林水産省の推計ではまだ食べられるのに捨てられている日本の食品ロスは、年間612万トン（平成29年度）発生している一方で、昨今のコロナ禍により食の支援を必要とする人は急増しており、お役に立てていただきます。



GREEN
CHALLENGE
2050 私たちの挑戦で、
未来を変えよう。

食品ロス対策 削減目標

2030年までに **50%削減**

2050年までに **75%削減**

※いづれも食品廃棄物量（売上百万円あたりの発生量、2013年対比）